

フィデューシャリー・デューティの具体的取組事項にかかる 2020 年度取組実績

取組方針および具体的取組事項	2020 年度通期取組実績
<b>方針 1 :「お客様の最善の利益の追求」</b>	
○企業と投資家の間に長期の信頼関係を構築するための施策を講じます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 方針 3 に記載の投資家等とのコミュニケーションによる長期の信頼関係構築を継続している。企業とのコミュニケーションについては、2020 年度は合計 215 先実施（国内：150 先、海外 65 先）。</li> </ul>
○企業価値の徹底した分析に基づく評価とその創造への提言の能力を備えた人財の育成のための施策を講じます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教育機関により提供されるプログラムを若手職員に受講させ、企業価値評価、投資戦略等のスキル、ノウハウ蓄積に努めた。</li> <li>・ Aurea Lotus 社主催の『フランチャイズバリュー創造企業に投資する為の基礎講座』（バリュー投資の基礎理論および企業分析事例の講義）に若手職員が 3 名参加（5 月、8 月、11 月）。</li> </ul>
<b>方針 2 「利益相反の適切な管理」</b>	
○利益相反管理の有効性・適切性の検証の中で、当社の業務特性を踏まえた利益相反回避のための適切な方法を採用いたします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 利益相反管理方針に基づく管理を継続し、親会社等の役員を兼務する取締役、および親会社からの出向者に対し、不当な影響力行使や情報の守秘についての誓約書を受領。また、所属する役職員全員から内部者取引等防止に関する確約書を受領。</li> <li>▶ その他、弊害防止措置にかかる社内研修を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>○利益相反にかかる誓約書受領 当社に着任した出向者 6 名から受領</li> <li>○内部者取引防止確約書受領 新規で当社に着任した役職員 8 名から受領</li> <li>○社内研修 弊害防止措置（2021 年 3 月）</li> </ul> </li> </ul>

取組方針	具体的取組事項
方針3「報酬へのご理解」	○お客様に定期的実施する運用報告のほか、年次総会などの機会を通じて、当社の活動の内容をお客様にご理解いただくための活動を実施いたします。
方針4「分かりやすい情報提供とお客様にふさわしいサービスの提供」	○インベストメントチェーンの一員として運用会社様および販売会社様と連携し、各種メディアも通じて広く長期厳選投資の意義を伝えるための活動を実施いたします。
方針3~4にかかる2020年度通期取組実績	
<p>▶ コロナ禍でオフラインによる報告会が困難な中、最終受益者等に当社の活動内容を理解いただくための活動として、4月からZoom等を活用したオンラインによる報告会を継続的に実施している。2020年度に予定していた年次総会は新型コロナ感染拡大状況を踏まえ延期となり、2021年4月24日に実施している。</p>	
主催者	2020年度実績
SBI証券	合計7回実施（4/30、5/29、6/26、7/27、7/29、8/25、9/28）
楽天証券	合計4回実施（5/15、6/25、7/30、9/30）
岡三証券	1回実施（5/5）
おおぶねメンバーズカンファレンス（※）合計6回実施（10/30、11/30、12/21、1/26、2/24、3/31）	
（※）第3四半期から、販売会社の報告会を一本化	
<p>▶ 長期厳選投資の意義を伝えるため、主として以下の活動を実施。</p> <p>▶ 上記の他、長期投資の意義を伝えるための書籍（2020年5月、2021年3月）を発刊。</p>	
企画内容	2020年度実績
学生向け	合計8回実施 京大寄付講義、東大講演、一橋大講演の他、ゼロ校、島前高、郁文館高
TV等	合計20回出演 INVESTORS（11回）日経CNBC（2回）、フジTVビジネススタイル、FM大阪など
雑誌等	合計41回掲載 ダイヤモンドオンライン（18回）、NewsPicks（4回）、プレジデントオンライン（3回）、日経マネー（2回）、THE21オンライン（2回）など
各種イベント等	合計16回実施 JA・信連セミナー（3回）、IFA主催セミナー（3回）、SBIセミナー（2回）、Fincityフォーラムなど

取組方針および具体的取組事項	2020 年度通期取組実績
方針5 「従業員に対する適切な動機づけの枠組み」	
<p>○教育・研修等を通じ、すべての役職員がフィデューシャリー・デューティー遵守の意識を共有するとともに、業績評価体系にお客様のニーズ・利益に真に適う取組みに焦点を当てた評価項目を設けます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 2020 年度の年初、および下期初の全体会議、着任者配属初日等において、当社の設立趣旨である「価値に基づく資本配分を通じた経世済民の実現」むけた 3 つの目標について、改めて全職員で共有。</li> <li>▶ 2020 年度上期、下期の各職員の業績評価およびジョブクライテリア制度について、お客様本位の取組方針に則った目標設定を継続して実施。</li> </ul>
<p>○お客様の信認に応えることを最優先事項として掲げ、役職員個人としての投資助言残高等の追求は業務上の目標として設定はいたしません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ お客様本位の取組を最優先事項とし、投資残高等に基づく個人のインセンティブ目標は設定していないことを 2020 年度上期・下期の目標設定時に確認。</li> </ul>